

# スライディング窓オプション金具

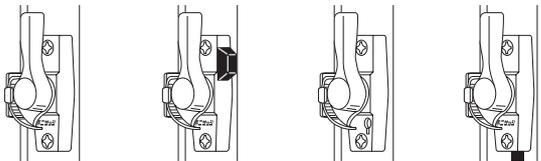
## クレセントバリエーション

□FNS-70 □FNS-70EAT □FNS-70AT □FNS-70P □NLS-I □NLS-II □FR70X  
 □FNS-100 □FNS-100AT □FNS-100断熱

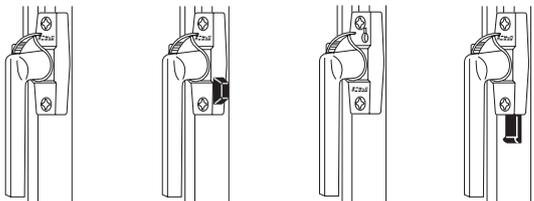


■ダブルロック ■鍵付 ■ダブルロック ■鍵付  
 ※クレセントのデザインは予告なく変更されることがあります。

□FRS-100



■シングルロック ■ダブルロック ■鍵付 ■スライドキー付



■シングルロック ■ダブルロック ■鍵付 ■スライドキー付

### ■クレセントの操作

- ダブルロック (標準タイプ) ・クレセントの横に付いているボタンを上下させることにより、ハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができるタイプです。
- 鍵付 ・クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、ハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができるタイプです。
- シングルロック ・クレセントのハンドルを回転させてロックするシンプルなタイプです。
- スライドキー付 ・クレセントの下部にあるスライドキーを上下させることにより、ハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりすることができるタイプです。(スライドキーを下まで落とすとハンドルの回転が不可能になり、スライドキーをクレセント下部に挿入するとハンドルの回転が可能になります)

### お願い

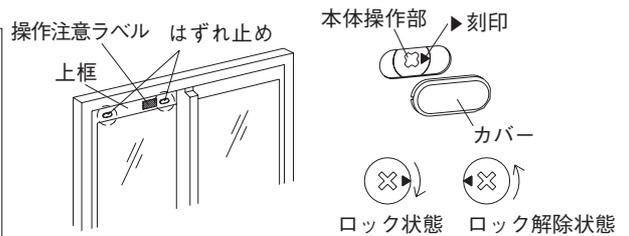
❗ クレセントのダブルロックまたは鍵をかけた状態でクレセントを無理に操作しないでください。クレセントの破損につながる可能性があります。

## 上框内蔵タイプはすれ止め

本品は、標準のはずれ止めに追加して、外障子（室外側障子）の上框に取付けられるオプションのはずれ止め部品です。

### ▲注意

1. お手入れなどのために障子はずした後、再び窓枠に取付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。
2. はずれ止め部品が正しくかかっていないと、障子が窓枠からはずれて落下し、事故（人身・物損）につながるおそれがあります。

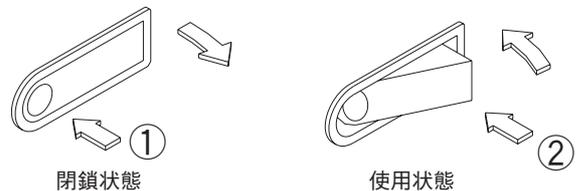


## サブロック

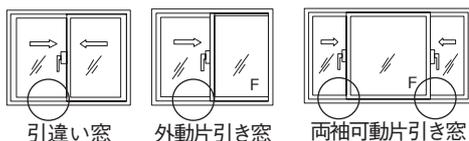
本品はクレセント締まりの補助金具として取り付けられています。クレセントと併用してご使用ください。

### ◆操作方法

1. サブロック使用時は右図の①を押ししてください。先端が飛び出しストップ機能が有効になります。
2. サブロックを取納する時は、飛び出しているストッパーの先端（右図②）を押し込むとストップ機能が無効になります。



開口形式別取付位置

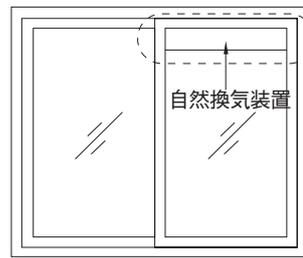


### お願い

- ❗ ご使用の際は必ずクレセントと併用してください。
- ❗ サブロックが掛かった状態で無理に障子を開閉しないでください。サッシまたはサブロックの破損につながる可能性があります。

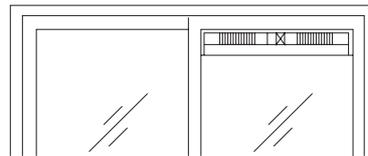
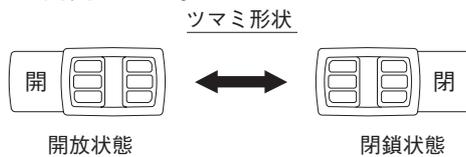
## 自然換気装置

引違い窓に取り付けられる自然換気装置です。



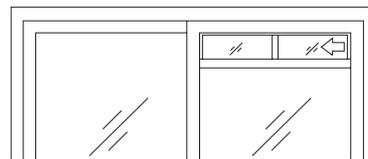
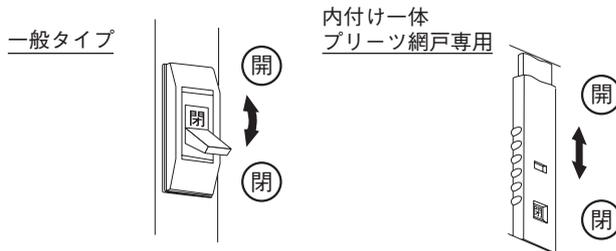
### ◆換気枠の開閉

換気枠にある操作用ツマミを左右にスライドさせることにより、開閉します。



### ◆換気小窓の開閉

小窓中央部の締め金具を解除し、右側のガラスをスライドさせてください。引き加減で通気量の調整ができます。



## お願い

- ❗ 防犯上、お出かけになる場合には小窓を閉めてください。
- ❗ 風の強い時には、小窓を必ず閉めてください。

## キックハンドル

本品は窓の開閉をテコの原理を応用したキック構造で軽く作動させるために取り付けられる操作ハンドルです。  
ご使用の際はこの説明書を良くお読みになり正しくお使いください。

### ◆開閉操作

- ① ハンドルを写真-1のように持ち矢印の方向に引いてください。
- ② ハンドル台座からローラーが飛び出し枠を蹴るようにして扉が開きます。



【写真-1】



【ハンドルの動き】



## 回転式ストッパー

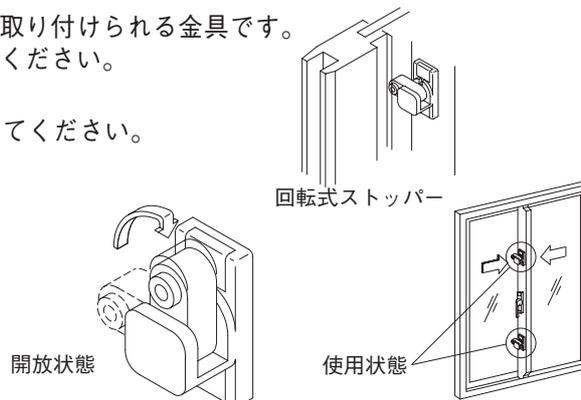
本品は、窓開放時に指を障子に挟まないようにするために取り付けられる金具です。ご使用の際はこの説明書を良くお読みになり正しくお使いください。

本品は通常ストッパーを掛けた状態で使用します。

窓を全開に開放する場合は下記の手順にしたがって操作してください。

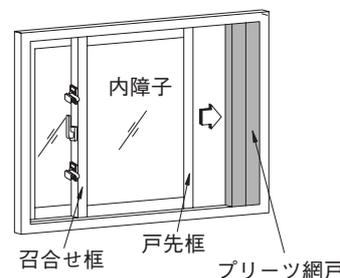
### ■ストッパーの操作方法

- ①ストッパーを解除する時は90°上に回転させて上を向いた状態で下に下げると、ストッパーが上向きで固定されます。
- ②元に戻す時は逆の手順で元に戻してください。



## お願い

- ❶ 障子の開閉操作はゆっくりおこなってください。無理な操作は商品の破損・思わぬ事故やけがにつながります。
- ❷ ストッパーを開放状態から使用状態に戻す時には、ストッパーを上を持ち上げてから回転させてください。無理に回転させると金具破損の原因となることがあります。
- ❸ ストッパーは上または下1個での使用はしないでください。商品が破損する恐れがあります。
- ❹ ストッパー解除後、作業を終了したら必ず元の状態に戻してください。
- ❺ 室内側へ180°回る構造になっていますが、プリーツ網戸が取り付けられている場合は180°回転させないでください。やむをえず回転させる場合は下記の注意事項に気をつけてください。
- ❻ プリーツ網戸一体商品の場合はストッパーを180°開放する際、必ずプリーツ網戸を縦枠側（引違いの時は内障子側縦枠・片引きの時は左右寄せられる方の縦枠）へ収納してから開放してください。ストッパー金具がプリーツ網戸と接触しストッパーやプリーツ網戸の破損の原因となることがあります。



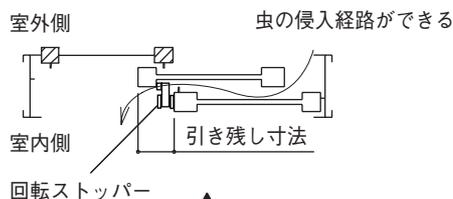
### ■ストッパー使用時の網戸の使用方法について

網戸の種類及び使用条件により防虫効果が異なりますので、次の事項をご理解の上正しくご使用ください。

#### ①外障子を開放して使用する場合

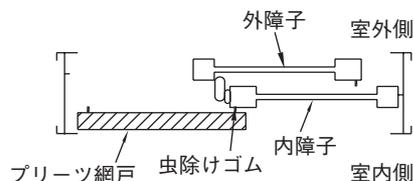
##### ◆一般網戸

外障子と内障子との間の一部にスキマが生じますので防虫効果が十分発揮されません。



##### ◆プリーツ網戸・イーズネット

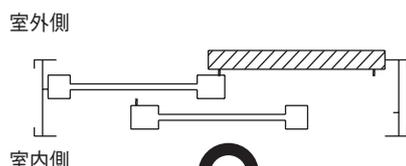
外障子がどの位置にあっても防虫効果は十分発揮されます。



#### ②内障子を開放して使用する場合

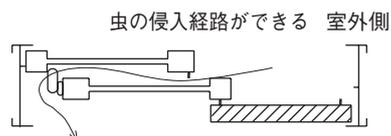
##### ◆一般網戸

内障子がどの位置にあっても防虫効果は十分発揮されます。



##### ◆プリーツ網戸・イーズネット

内障子と外障子との間の一部にスキマが生じますので防虫効果が十分発揮されません。

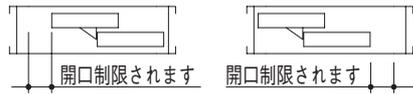


## 開口制限ストッパー

本品は、換気などの目的で窓を開放したときに、窓の開口寸法を制限するための商品です。必ずご使用前にこの説明書をお読みにになり正しくお使いください。

### ■障子の開閉

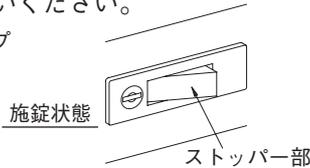
- ①クレセントを上又は下に180°回してください。ロックが解除され、障子が移動可能になります。
- ②ストッパーにより開口幅が規制されて開きます。



### ■開口制限ストッパーの種類

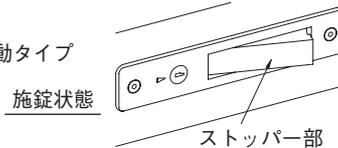
開口制限ストッパーには3種類あり操作方法が異なりますので、ご使用になる前に対象品の確認をして正しくお使いください。

#### ①標準タイプ



#### ②高強度タイプ

#### ③高強度内外連動タイプ



## ▲注意

1. ストッパー施錠状態での過剰な力による障子開放操作はおやめください。ストッパーが破損し、窓が全開できなくなる恐れがあります。

## お願い

- ❗ 障子の開閉操作はゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。(各商品共通)
- ❗ 破損などの原因でストッパーが解除できなくなった場合は、メーカーへ修理の連絡をしてください。
- ❗ 高強度タイプでストッパーの破損により窓が全開できない場合は、二面幅3ミリの六角レンチでストッパー金具の固定ねじを取り外して金具を手前に引き抜いてください。金具の取り付けられていた場所はガムテープなどで塞ぎ、メーカーへ修理の連絡をしてください。



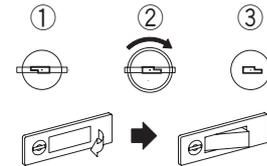
### ■開口制限ストッパーの使用法

開口制限ストッパーには3種類あり操作方法が異なりますので、ご使用になる前に対象品の確認をして正しくお使いください。

#### — 標準タイプ —

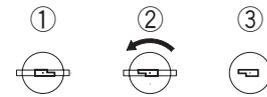
##### □施錠時

- ① 鍵を差し込む。
  - ② 鍵を時計回りに180°回す。(施錠状態になる)
  - ③ 鍵を抜く
- ※施錠後に事故防止のため飛び出したストッパー部を指で押して、解錠しないことを必ず確認してください。



##### □解錠時

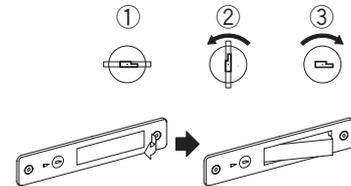
- ① 鍵を差し込む。
- ② 鍵を反時計回りに180°回す。(解錠状態になる)
- ③ 鍵を抜く



#### — 高強度タイプ (内外連動含む) —

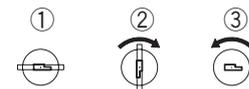
##### □施錠時

- ① 鍵を差し込む。
  - ② 鍵を反時計回りに90°回す。(施錠状態になる)
  - ③ 鍵を時計回りに90°回し、鍵を抜く
- ※施錠後に事故防止のため飛び出したストッパー部を指で押して、解錠しないことを必ず確認してください。



##### □解錠時

- ① 鍵を差し込む。
- ② 鍵を時計回りに90°回す。(解錠状態になる)
- ③ 鍵を反時計回りに90°回し、鍵を抜く



#### — 室外からの操作 (内外連動タイプのみ) —

##### □施錠時

- ① コイン等で時計回りに90°回す。



##### □解錠時

- ① コイン等で反時計回りに90°回す。



## 戸先締め

本品は、防犯性を高めるために取り付けられるオプション金具でクレセントと併用して使用することにより高い防犯性能を発揮します。

### ■戸先締め種類

#### ①オートロックタイプ（腰高窓用）

引違い窓・片引き窓の戸先框に内蔵されており、窓を閉めると自動的に施錠されるタイプです。  
窓の鍵のかけ忘れを防止します。

▼マーク（緑色）

#### ②マニュアルロックタイプ（テラス窓用）

引違い窓・片引き窓の戸先框に内蔵されており、手動で室内側から施錠操作をおこなうタイプです。  
出入りをおこなう窓に取り付けられます。

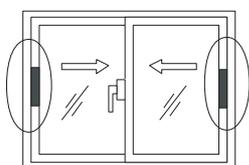
▼マーク（緑色）

（開放状態）

### ■操作手順

#### ◆オートロックタイプ（腰高窓用）

窓を閉鎖した状態では常にロックがかかった状態となります。窓を開けるときは下記の手順にて操作をおこなってください。



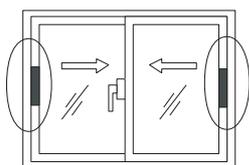
取付位置

#### ◇操作手順

1. 締め金具を指で押し下げます。
  2. 締め金具を指で押し下げたまま指を離さずに窓を開けてください。
  3. 窓が開いたら締め金具から指を離してください。
- ※窓を閉鎖すると戸先締めは、自動的に施錠されます。

#### ◆マニュアルロックタイプ（テラス窓用）

室内側より手動で締め金具を操作します。  
金具の施錠・解錠は下記の手順にて操作をおこなってください。



取付位置

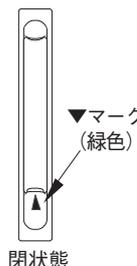
#### ◇操作手順

1. 締め金具を指で上げると施錠されます。
2. 締め金具を指で下げると解錠されます。

※締め金具の施錠・解錠は締め金具の表示マークにて判別できるようになっています。



開状態



閉状態

### お願い

- ❗ 締め金具が掛かった状態で無理に窓を開けないでください。締め金具の破損の原因となることがあります。
- ❗ 本品は補助ロック金具ですので、施錠時は必ずクレセントも同時に掛けてください。